

## 聖書のみことば

### 【マルコの福音書 15章 7-15節】

- 7 たまたま、バラバという者がいて、暴動のとき人殺しをした暴徒たちといっしょに牢に入っていた。
- 8 それで、群衆は進んで行って、いつものようにしてもらうことを、ピラトに要求し始めた。
- 9 そこでピラトは、彼らに答えて、「このユダヤ人の王を釈放してくれというのか」と言った。
- 10 ピラトは、祭司長たちが、ねたみからイエスを引き渡したことに、気づいていたからである。
- 11 しかし、祭司長たちは群衆を扇動して、むしろバラバを釈放してもらいたいと言わせた。
- 12 そこで、ピラトはもう一度答えて、「ではいったい、あなたがたがユダヤ人の王と呼んでいるあの人を、私にどうせよというのか」と言った。
- 13 すると彼らはまたも「十字架につけろ」と叫んだ。
- 14 だが、ピラトは彼らに、「あの方がどんな悪い事をしたというのか」と言った。しかし、彼らはますます激しく「十字架につけろ」と叫んだ。
- 15 それで、ピラトは群衆のきげんをとろうと思い、バラバを釈放した。そして、イエスをむち打って後、十字架につけるようにと引き渡した。